

7進課 ☎072・433・
000

申込・問合せ先 健康推
り次第(締切)

定員 各10組(定員にな
参加費 2000円

舎場 保健・福祉合同庁
※保護者のみの参加も可
護者 15ヵ月頃の子ともと保
く30分・午後1時
30分・午後5時
②9月10日(金)午後1時
の子どもと保護者
30分・午後5時
30分・午後8時
30分・午後1時
30分・午後3時
30分・午後9時



健康

離乳食講習会

聞いて・見て・作っ
て・食べて離乳食を体
験できます。
保育士・看護師によ
る保育もありますので、
安心して受講していただ
けます。



**おしらせ
ひろば**

検診

詳しくは、広報4月
号挟込みの「保健だよ
り」をご覧ください。
インターネット予約で
きます。
市民税非課税世帯・
生活保護受給中のかた
は、無料受診券を発行
します(要事前申請)。
◆乳がん・子宮がん検
診
日時 8月23日(月)・
31日(火)、9月29日
(水)、10月15日(金)い
ずれも午後
※9月29日は保育あり
(午後6ヵ月・就学前
の子どもが対象。要予
約)
◆乳がん検診
日時 10月6日(水)午
後

申請・予約・問合せ先
健康推進課 ☎072・
433・7000

被爆二世健康診断

対象 府内在住の被爆
二世で受診を希望する
かた
日時 申込後、本人へ
通知
費用 無料
申込期間 9月1日
(水)～10月29日(金)に
岸和田保健所へ(☎0
72・422・568
1) 問合せ先 府健康医療
部保健医療室地域保健
課 ☎06・6944・9
172



不育症の検査費用・治療費を助成

不育症検査費用の助成

府では、不育症のかたの経済的負担の軽減を図るため、不育症検査に要する費用の一部を助成します。詳しくはお問合せください。

対象 次の全てに該当するかた

- ①検査実施日時点で、大阪府内(大阪市・堺市・豊中市・吹田市・高槻市・枚方市・八尾市・寝屋川市・東大阪市を除く)に住所があるかた
- ②2回以上の流産、死産の既往があるかた
- ③令和3年4月1日以降に、流産検体を用いた染色体検査(国が先進医療として告示している不育症検査に限る)を、当該検査を実施する医療機関として厚生労働省に承認などをされた保険医療機関で受けたかた

助成金額 対象者が負担した検査費用(文書料など検査に直接関係ない費用は除く)の金額または5万円のいずれか低い方の金額

【問合せ先】府保健医療室地域保健課母子グループ
☎06-6944-6698

不育症治療費の助成

市では、2回以上の流産、死産または早期新生児死亡の既往があり、不育症治療を受けている夫婦に対し、治療費を助成します。

詳しくはお問合せください。

対象 次の全てに該当するかた

- ①不育症治療を受けた日から助成金の交付申請日まで、引き続き夫婦双方が、市の住民基本台帳に記録されているかた
- ②国内の医療機関で不育症治療の必要があると医師に診断され、その治療を受けたかた
- ③医療保険各法の規定による保険給付の対象外の治療を受けたかた

助成金額 対象者が負担した医療保険適用外の不育症治療費(検査費用・文書料など治療以外の費用は除く)の金額または5万円のいずれか低い方の金額

【問合せ先】市健康推進課 ☎072-433-7000

新型コロナウイルスワクチン接種に関する差別的な扱いはやめましょう!

新型コロナウイルスワクチンの接種は、強制ではありません。本人が同意した場合のみ接種が行われます。また、病気など様々な理由により、接種できないかたもいらっしゃいます。職場や周りのかたなどに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないようお願いします。



【問合せ先】人権政策課 ☎072-433-7160
健康推進課 ☎072-433-7000

健康都市宣言

私たちの願いは、お互いに支えあいながら、生涯にわたる健康で生き生きと幸せに暮らすことです。そのために、「自分の健康は自分でつくり自分で守ること」を基本とし、市民がともに助けあい、民間と行政が連携しながら健康づくり・体力づくりを進めていきます。

ここに貝塚市を「健康都市」とすることを宣言します。

- 一 私たちは、自らの健康状態を知り、笑顔を大切に元気あふれる生活をめざします。
- 一 私たちは、自然の恵みと食に感謝し、日々の運動と規則正しい生活に努めます。
- 一 私たちは、豊かな自然を守り育て、住みよい健康的なまちをきずきます。

(平成25年5月1日制定)

サルコペニアとフレイル

サルコペニアは、進行性、全身性に認められる骨格筋量減少と筋力低下の事であり、身体機能障害、QOL(生活の質)低下、死のリスクを伴うと定義されています。

これは、高齢者でなくても、がん、慢性心不全、自己免疫疾患、慢性感染症などの疾患により二次性サルコペニアとして認められることもあります。これとよく似た内容にロコモティブシンドローム(ロコモ)があります。これは整形外科学会において、骨や関節、筋肉など運動器の衰えが原因で「立つ」「歩く」といった移動機能が低下している状態のことを指しています。

フレイルは、サルコペニアに加えて、認知機能障害やうつなどの認知・精神的要因や、独居、閉じこもり、孤独、経済的問題などの社会的要因が加わった状態のことであり、介護予防など適切な介入を行うことにより、健常状態に戻りうる可逆性のある状態です。

コロナウイルス感染予防の為、家に閉じこもったり、運動不足になる事の多い日々が続いていると思いますが、感染に注意しながらサルコペニアやフレイルの状態にならない工夫が大切だと思われます。

問合せ先 貝塚市医師会 ☎072-423-4130

歯の色

「あなたの歯の色は何色ですか?」と尋ねられると、多くの人は「白です」と答えながらも、ちょっと考えて「いや、本当に白いかなあ?」と疑問に思うことはありませんか。厳密に言えば、人間の歯はきれいに汚れを取り除いたとしても、まっ白ではありません。

それでは、歯の色はどのように見えるのでしょうか?歯は、外側が透明度の高いエナメル質というガラスのような層で被われており、その内側の象牙質と呼ばれる層の色が透けて見えます。これが歯の色です。

象牙はアイボリーと呼ばれているように、象牙質の地の色はまっ白ではなく、日本人の多くはオレンジ色を帯びたアイボリー色であり、その中に特徴的にグレーや黄色、ブラウン色が含まれていることで個性が出ています。

このような元来の歯の色が加齢などにより濃くなってきたときに、歯を白くする方法の1つがホワイトニングです。歯のホワイトニングは、酸などの薬品を用いてエナメル質を変質させ、すりガラス状にして地の色を目隠しすることにより、歯を白く見せています。

貝塚市歯科医師会